

谷崎大使離任レセプションに際しての挨拶文

ブイ・クアン・ヴィン計画投資大臣閣下
グエン・クオック・アインバクマイ病院院長
ご列席の皆様

本日私の離任レセプションにお越し頂き有り難うございます。3年の任期を終え帰国することになりました。大過なく責任を果たせたのも皆様方のご協力とご支援のお陰です。心より御礼申し上げます。

着任直後から旧市街を散策しました。ハノイの方はとても上品であり、また日々の生活を大切にしています。家々のベランダには観葉植物や鳥かごがおかれ、ハノイ市民は活気に満ち様々な種類の食事をしているのを見て忽ちこの国に引き込まれました。地方にも足を伸ばし30省くらいは訪問したと思います。バクニンのクアンホーやハーティンのカーチューを聞き、ディエンビエン、ブンメトートの少数民族を訪問し、メコンデルタの運河を走り回るとベトナムが実に多様な文化を持っていることに驚かされました。もっと知ろうとお思いグエンズーのトゥイキョウ、タアクラムの文学を読み、ベトナムの方と出来るだけ多くの機会を設けおしゃべりをしました。ベトナムのことが少し分かったかな、と思う時もありましたが、次々に新たな発見をし、この国の文化の奥深さを痛感しました。目的地にたどり着いたつもりが、また先に移動してしまう蜃気楼を追うような気持ちです。謎を秘めているからこそ魅力を感じます。ベトナムを離れてもベトナム文化の真髄に近づく旅を続けるつもりです。

日越関係は、赴任した3年前、戦略的パートナーシップの下で既にかなり発展していました。特に、赴任直後に合意出来た原子力発電所の建設は両国協力の象徴になりました。その一方で私自身は経済発展計画の中心をなす工業化計画に日本の発展の経験を活かせないか、あるいは政治安全保障や文化、青年交流と言った、より幅の広い、できれば包括的な協力関係にするべきだと感じました。そのような構想を考えている時東日本大震災が起きました。ベトナムの方々から寄せられた暖かい気持ちや支援に圧倒されました。『年金の数日分です』として寄付された老人や『孫からテトのお年玉を預かってきた』といわれたお

じいちゃんもおられました。山岳地帯、長い海岸地帯の北から南まで、メコンデルタからも代表者が弔問に来られました。

私はこれらを目のあたりにし、日越両国国民の間にはお互いを敬う気持ちが根付いていると思いました。両国関係は、こうした土壌の上に立つ、『自然な』戦略的パートナーだと確信しました。

本年は日越友好年です。この瞬間も両国のシンボル、桜と蓮の花で覆われた南北統一鉄道の車両が走っています。実行委員長である私が途中で交代するのは大変残念であり、協力して頂いている方々に申し訳なく思います。この友好年が日越の更なる発展の契機になると思います。

ベトナムは、人口が多く、若く、優れた人材を有するダイナミックな国です。近い将来、工業と農業がバランスよく発展し、政治的安定に支えられ ASEAN の指導的役割を果たすことでしょう。東アジアの繁栄と安定に大きな貢献をしてきた日本は、政治的安定を取り戻し、経済は再び活力を発揮してきております。こうした日本とベトナムが自然なパートナーとして全面的な協力関係に入ることは、二国のみならずこの地域の繁栄と安定に大きな役割を果たすことになります。

そのような明るい未来を構築する過程で、私のベトナムでの職責が少しでも役に立てたとすれば私の望外の幸せであります。

ご理解、ご協力、ご支援いただきました皆様に改めて心より感謝申し上げます。

それでは私の感謝を込め、皆様とご家族のご健勝と日越両国の発展を祈念し杯を上げたいと思います。 乾杯！